

マルケッタ・キッタ博士が語る：フィンランドの教育と子どもの行動環境
～アフォーダンス理論とソフトGISによる子どもの行動分析～

マルケッタ・キッタ博士は、ギブソンのアフォーダンス理論を子どもの行動環境に適用し、環境評価の新しい切り口を提起したことで知られる研究者であり、また、情報テクノロジーを含めた学際的プロジェクトにおいて、子どもにも操作ができる環境評価「ソフトGIS」開発チームの代表をつとめています。今回、来日の機会*1に、フィンランドの学校や地域の環境を子どもの視点から評価する理念や方法について話をお伺いして、子どもの行動環境について一緒に討議ができればと考えています。なお、通訳を介して日本語で理解できるようにします。



From Kyttä(2003) CHILDREN IN OUTDOOR CONTEXTS

日時：2012年10月27日（土） 14時～16時

場所：東京工業大学 教育環境創造研究センター会議室（緑ヶ丘4号館2階）

東京都目黒区大岡山 2-12-1

（東急大井町線 緑ヶ丘駅から徒歩3分、大学西門すぐ）

最寄駅は大岡山駅ではありません。添付地図をご覧ください

<http://www.rcfef.gh4.titech.ac.jp/center/index.htm>

司会：木下勇（千葉大学）

講演：マルケッタ・キッタ博士（Marketta Kyttä）

フィンランド アールト大学 都市&地域研究センター主任研究員（環境心理学）

略歴：

1989年ヘルシンキ大学で心理学修士取得。

2004年ヘルシンキ工科大学（現アールト大学）建築&都市計画分野でPhD取得。

学位論文は環境の子どもへの優しさの評価に関する優れた論文として

Lea Pulkkinen and Tapio Nummenmaa 賞 受賞。

ギブソンのアフォーダンスの概念を子どもの環境に応用した論文は引用多数。

都市の健康と幸福度、住民参加のまちづくりと日常生活の場の研究、

学際的事業で受賞したソフトGIS開発チームのリーダー。



Dr. Marketta Kyttä

この案内をお知り合いの方に転送して頂くと共に、お誘いあわせの上、ご参加頂ければ幸いです。

東京工業大学教育環境創造研究センター長
宮本文人

【参加申込】

定員：60名（申込先着順）

申込方法：「第9回シンポジウム」と書き、氏名、勤務先・所属、電話番号、メールアドレスを明記の上メールまたはFAXでお申し込み下さい。

申込・連絡先：東京工業大学教育環境創造研究センター 河井（事務）

住所：東京都目黒区大岡山 2-12-1

電話：03-5734-2384（宮本研究室） FAX：03-5734-2999

E-mail：kawai.j.aa@m.titech.ac.jp

*1 日本学術振興会二国間交流事業・共同研究：フィンランド（研究代表者：真鍋陸太郎／東京大学）によって来日。